

関東アコーディオン演奏交流会

No.2

実行委員会ニュース

2016.6.11発行

編集 広報部

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>

= 学びあうためのコンクール =

第28回関東アコーディオン演奏交流会

2016年9月22日(木)祝

出場団体募集中!

会場 北区滝野川会館(今年の独奏と同じ会場です)

今年は【重奏・バンド/アンサンブル・合奏部門】

■「小アンサンブル部門」の部門名称変更のお知らせ!

これまで「小アンサンブル部門」としていた名称を「バンド/アンサンブル部門」と変えてみることにしました。理由は、“小アンサンブル”の表現は、いわゆるクラシック系だけを対象にしているように感じている人もいるのではないかと考えられる。などの意見もあるので、アコースティックに限るとの条件付きではあるけれど「アンサンブル部門」の窓口を広げることにつながればと考えて変更してみることにしました。

※皆さまのお近くでアコーディオンの加わったユニットがありましたら、ぜひその方にも声を掛けて参加を呼び掛けてください。



■ゲスト演奏者に『原田 忠』氏(アコーディオニスト)決定!

■プログラムへ広告のお願い!(詳細は2ページをご覧ください)

■伴奏講座参加者募集中!(詳細はホームページをご覧ください)

■関東アコアンサンブル練習予定!(詳細は3ページをご覧ください)

目次	■ 広告のお願い…2P	■ 関東アコアンサンブル第5回練習予定…3P		
	■ ぶらり訪問記「江森登アコ教室第52回演奏発表会」…4P	■ ぶらり訪問記「グリーンコンサート」…5P	■ 千葉アコと横浜アコとの交流会…6P	■ ぶらり訪問記「東京アコーディオン愛好会例会」…7~9P

広告掲載のお願い

プログラムに掲載します。また、ホームページへもアップ致します。



関東アコーディオン演奏交流会も、アコーディオン愛好家の交流の場となって28回目を迎えました。「学びあうためのコンクール」でもある交流会の開催趣旨をご理解賜り、今年度も皆様の日頃の活動をPRする場として活用していただければ幸いです。

《申込み締切り》7月31日(日)消印有効、までに版下をお送りください。

《申込み・問合せ先》 岡田 栄子 〒355-0076 東松山市下唐子1322-23

☎0493-81-5241 E-mail: chyanchyanmamane@gmail.com

広告サイズの比較

枠線の幅はほぼ実寸です。参考にしてください。他に④10cm×15cm:20,000円(縦が③の2倍のサイズ)もございます。

① 名刺広告
3cm×7.5cm
3,000円

② 広告
5cm×7.5cm
5,000円

③ 広告
5cm×15cm
10,000円

『第13回伴奏講座』開催のお知らせ!

2016年6月25日(土)13:00集合~26日(日) ■費用:14,000

会場 星槎高尾キャンパス(八王子)



講師 池田 健・橋本千香子

◎初めての方でも安心して学べます。



申込み問合せ 塚本五郎 ☎&FAX 044-877-9871

メール:tsuka@mrg.biglobe.ne.jp

←昨年の様子「合奏形式(上)と独奏形式の伴奏(下)」

関東アコアンサンブル 参加者募集中！！(旧実行委員会アンサンブル)

今年開催予定の「第28回関東アコーディオン演奏交流会」合奏部門への参加に向けて有志で練習を始めました。練習に参加できる方であればだれでもメンバーになれます。皆さんも一緒に参加してみませんか！

指導 池田健氏(関東アコ実行委員)

曲目 ヘンデル/合奏協奏曲作品 6-6 第1楽章&第2楽章

申し込み先 池田健 047-320-6015(Fax) ken4425@ka2.so-net.ne.jp(Mail アドレス)

第5回練習日程と練習会場

日にち 6月19日(日)

時間 13:00~17:00

会場 エデュカス東京

交通 JR「四谷」または「市ヶ谷」
駅より徒歩7分

会場案内

旧日本テレビビル向かいにある地学会館ビルを目印に、同ビル脇の路地に入る



※前回(4回目)の練習にはチェロが2人参加して12人でした。

■5回以降の練習予定

第6回 7月24日(日)

13:00~17:00

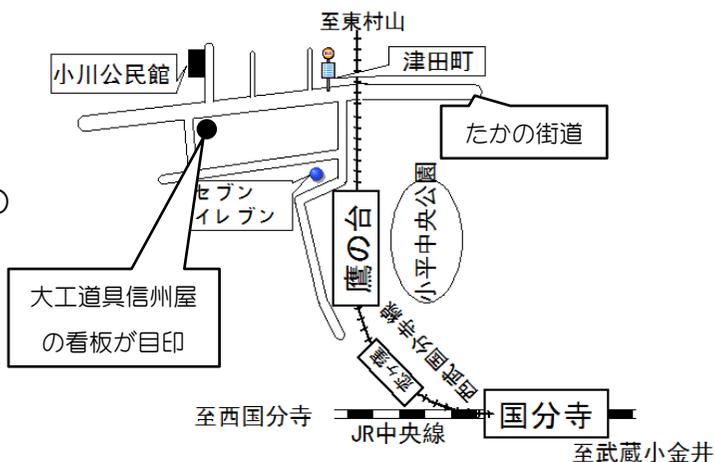
会場 小平市小川公民館

交通 西武国分寺線「鷹の台」駅より徒歩7分

第7回 8月28日(日)

13:00~17:00

会場 エデュカス東京



♪「江森登 アコーディオン教室 第52回演奏発表会」ぶらり訪問記♪

2016年5月14日(土)16:00開演 会場:成増アクトホール(東京・板橋区)

ゲスト出演 群馬アコーディオンセンター
(合奏) 指揮 田村鉄雄

ゲスト出演 江森ファミリークインテット
アコーディオン: 江森登/平賀康子
ギター: 江森孝之 ピアノ: 宮沢由美
ベース: 田辺和弘 ドラム: 江森裕史

.....
江森教室の発表会に足を運ぶのは6年ぶりになります。

江森教室の発表会の楽しみは、演奏者の数が多いこと(その分終了時間が遅くなるけれどいろいろな曲が演奏され楽しめます)また、群馬アコーディオンセンターの方たちも演奏されるので、日頃聴く機会の少ない群馬を拠点に活動されている方たちの演奏にふれることができます。

今回は欠場者が2名おられ、34名の方が演奏されました。《二重奏:アコ&ギター(1組)、アコによる二重奏(2組)、他は独奏》

プログラムは15分の休憩を挟んで前半で独奏25人と二重奏2組が演奏。

曲目をいくつか挙げると、高知県の生まれで、1級河川で唯一ダムのない、日本最後の清流が流れる四万十川を想い作曲されたという自作曲を演奏された「組曲四万十川」、「帰ってきたツバメ」、「ベニスの謝肉祭」、「群衆」、「小雨降る径」、「二つのギター」、他に、「ナネットイ」や「ガウチョの嘆き」など初めて出会う曲も多かった。

ゲスト出演では、群馬アコーディオンセンターより指揮(田村鉄雄氏)他11名が仙田優氏(群馬アコーディオンセンター会長)編曲による「アムール河の波」の合奏で発表会に花を添えました。

休憩後の後半は、ゲスト、江森ファミリークインテットの演奏で始まりました。最初の演奏曲「ナニー」でのアコーディオン演奏は平賀康子さんでした。2曲目の「月下のコンチェルト」は、ピアノが前面に出た演奏で、6年前にもニュースの中で書きましたけれど赤ちゃん

のように柔らかくしなやかな指の動きとそこから出てくる音に今回も見とれてしまいました。3曲目の「恋のアランフェス」は、江森登氏のアコと江森孝之氏のギターの掛け合いが中心となりそれをピアノとベースがバックで支える演奏です。

その後独奏が6人、曲目をいくつか挙げると「リゴードン」、「ドセ リフレクスイオン」、「無窮動:バガニーニ作曲」、他に二重奏が1組《「パリのカナロ」(コントラバスが加わったので実際は三重奏でした)》、そして最後に江森登氏の独奏「五月のワルツ」(江森孝之作曲)です。

曲によってはもう少し元気が、メリハリがあっても良かったのではないかなと感じましたが、全体にとっても素直な演奏で姿勢も良くしかも皆さん暗譜しておられ上品な演奏でした。また、ステージの背景を、時折赤や緑を基調にしたグラデーションに変えるなどの工夫も見られました。

最後に、プログラムの表紙に載せられた江森登氏の文章を一部転記させていただくと、「...私も若いころは、アメリカ人、フランス人、イタリア人など、じょうずな人たちのまねをしたりしておりましたが、年とともに、日本人には日本人のよさがあるということに気がつきまして、八十四歳十一カ月でおそ目ではありますが、最近ではほんとうに弾くのが楽しくなってきました...」とあります。八十四歳とあるので、33歳ごろから毎年発表会を続けてこられて52回目になります。今年もお元気で発表会を開催されたことにおめでとうございますと申し上げたいです。

また、続けて、「遠い所から、忙しいなか、お弟子さんが来てくれるので、私の気持ちを押し付けないように、わかってくれるのを待つように、しております。」とも書かれています。司会者から途中インタビューを受けた演奏者も「昔はとても厳しかった」と答えておられました。(記:乙津)

♪グリーンコンサート 2016「魅惑のアコーディオン 大田智美」ぶらり訪問記♪

2016年5月20日(金)19:00開演 会場:大田区民プラザ大ホール(東京・大田区)

出演者 大田智美(アコーディオン)
長見麻耶(ピアノ)

このコンサートは、主催者あいさつによると通算では25回目になるけれど「区民による区民のためのコンサート」に生まれ変わって5年目とのことでした。

出演者の大田智美さんは、9月に開催予定の「第28回関東アコーディオン演奏交流会」の審査員の1人でもあるのでお願いしたところ、呼びかけのチラシをプログラムに挟み込んで頂けることになり、この機会に初めて出かけてみました。受付準備の作業を手伝いながらお聞きしたところ、グリーンコンサート立ち上げの時期は教職員の方たちの努力が大きかったようで、現在でも準備の裏方で支えていますとのことでした。

ピアニストの長見麻耶さんは留学先のドイツで大田智美さんのアコーディオン演奏に触れ、ピアノとは違った音の表現に新鮮な驚きを感じたと自己紹介されていました。

プログラムは、《第1部》に「アコーディオンソロ」、《第2部》に「アコーディオン&ピアノデュオ」の2部構成です。

第1部は、抒情小曲集より「農夫のうた」(E.グリーグ)のどかなゆっくりした曲で始まりました。次に楽器について(右側が鍵盤式のもの、ボタン式の楽器があること。真ん中のジャバラは、人間でいうと肺にあたる場所で息を吸ったり吐いたり呼吸するととても大事な場所でアコーディオンの命の部分です。等)の説明があり、音を弾き比べたので客席でもあちこちでうなずいていました。

2曲目の「ブタとの音楽」より“PIG LOVE SONG”/“PIG DANCE”この曲は、作曲者の野村誠氏が実際に養豚場でブタを前にして鍵盤

ハーモニカで演奏しながら作曲した5曲の組曲をアコーディオン用に編曲されたとのこと。ブタの鳴き声と思われる音がいろいろときこえるので、作曲された時は何頭の豚を前に演奏されたのかな、など思いを巡らせてみました。

続いては、「SAKURA」(ラースホルム編曲)、「シェルブールの雨傘」、「カリンカ」、ピアソラの「S.V.P」(タンゴの曲で邦訳すると「どうぞ」との説明でした)

休憩後の第2部は、ゆったりとした心地よい曲「Fantasia on Greensleeves」で始まりました。途中、ピアノの鋭いアクセントの付いた音にハッと我に返るものの、目を閉じて操り人形のように揺れながら弾くアコーディオンの音に眠りに誘われてしまいそうでした。

次の曲【「アメリカ」より、アメリカのワルツ～初めての場所～溺れる少女】は内田祥子氏がピアノとアコのために編曲されたとのコメントでした。ピアノの弾んだ響きが印象に残っています。

続いての2曲「夢見る人」(夢路より)/「草競馬」(S.フォスター作曲/美野春樹編曲)「草競馬」では、馬の疾走姿が目には浮かびます。途中足がもつれてこけてしまった馬がいたのででしょうか遊び心の仕掛けには会場から笑いが漏れました。再び起き上がり走り出してめでたくゴールします。

最後は、ピアソラの「ブエノスアイレスの春/ブエノスアイレスの夏」、アンコールでも、ピアソラの「リベルタンゴ」を演奏し幕となりました。

全体の印象は、音の出だしとフレーズの終わりがとてもきれいでした。また、なじみのある曲が多かったのと、コミカルなところもあって楽しめました。お客さんも同様だったのではないのでしょうか。(記:乙津)

はじめての「千葉アコ・サークルと横浜アコ・愛好会」との交流会

小池 亨子(横浜アコ・愛好会)

5月21日(土)千葉穴川コミュニケーションセンターで千葉アコーディオンサークルと横浜アコーディオン愛好会との合同練習を初めて行いました。

千葉アコ22名、横浜アコ7名、総勢29名参加となりました。練習会場の音楽室が公園に面していて、新緑を見ながらの非常に好環境の中での練習となり、技術力の向上にもつながり、大変有意義な練習会となりました。

練習は、森先生のご指導により、石居庸介先生編曲の曲を合同で合奏練習、各サークルの合奏演奏を聴き合い、また、各サークルから2、3名が独奏しました。

懇親会をして、交流を深めた約4時間、アコの良さを満喫する一日となりました。

練習曲目

合奏練習:ラ・ワンパルシータ、日本民謡メドレー

横浜アコ合奏:80日間世界一周、Sing Sing Sing

千葉アコ合奏:サウンド・オブ・ミュージックメドレー、

真珠とりのタンゴ

来年は、横浜アコ創立50周年なので、今度は、千葉アコのみなさんに横浜に来て貰って、記念コンサートを盛り上げて頂き、更に交流を深めたら良いな一と思いました。



♪「東京アコーディオン愛好会第42回例会」ぶらり訪問記♪

2016年5月29日(日)14:00～30日(月)10:00 会場:湯河原温泉「万葉荘」

先日、筆者が江森登アコーディオン教室「第52回発表会」を聴きに行った際に、東京アコーディオン愛好会の方が多数聴きにいらしていました。

メンバーの中に関東アコとつながりのある方がいらして筆者を紹介して下さいた折、「愛好会の方の演奏を聴く機会がないので、どうしたら聴くことができるのか」とお聞きしたところ、「5月末に、メンバーがお互いに演奏し合う恒例の例会があるのでよかったですら来ませんか」と声を掛けて下さいました。実にタイミングの良いお誘いに二つ返事で取材を兼ねての参加が実現しました。

.....

事前に届いた例会のお知らせによると、5月29日(土)は午後2時～午後5時(1回目の演奏:1人2曲程度1～2回に分けて演奏)その後入浴、食事が入り、午後7時30分～同9時30分(2回目の演奏:1回目と同じ形で演奏)とありました。

筆者は、当日自分たちの練習があったので夕食の時刻から合流しましたが、参加者は私を含めて17名で、ほぼ全員が参加されたとのお話でした。

したがって、1回目の演奏は聴いていないので夕食の様子からの紹介になります。

筆者は末席に座ったのですが、びっくりしたことに真向いの席にいらしたのが株式会社トンボ楽器製作所会長真野泰治氏でした。参加された方の年齢は60代～70代がほとんどで、真野氏は82歳ですとおっしゃって

ました。

料理を目の前にしていたこともあったかと思いますが、東京大空襲での悲惨な様子や、終戦末期から戦後の食糧難で栄養失調になったこと、当時のサツマイモ、大根、カボチャ、などは生産量を増やすことに力を入れていてとても美味しいと言えるものではなかったこと。そういう時代を過ごしてきたので今でもさつまいもは食べないとか、切り干し大根は嫌いだとか、筆者の座った周りではそんな会話がいきかっていた。

食事後2回目の演奏が控えているのに、ビール、日本酒など好みのお酒を飲まれていて大丈夫なのかなと思ってしまいましたけれど、皆さんは年に2回(5月と9月頃この「万葉荘」で例会/他にお正月にも新年会と称して集まる)約半年ぶりの再開を和やかに楽しまれているようでした。

さて、午後7時30分各自持参された楽器の置かれた会場へ移動し、見たところ司会進行係りがいる様子がなく(いらしたのかもしれません)真野泰治氏の、演歌のヒット曲「浪花節だよ人生は」で始まったのにはちょっと意外でした。

真野氏は後半でも「奥飛騨慕情」など弾かれ、演歌について「以前は、『このような演奏の場で演歌を弾くのは空気が汚れるようで嫌いだったんです。ところがこのような年になり老人ホームへ出かけていくとどうしても避けられない。演歌の会場の雰囲気を出さなければならない。そこで演歌道場



に入り勉強中で現在“6段”まで進んだ』とおっしゃり、弾き始めてみると、アコーディオンの演奏にとっても勉強になることがわかったと話されました。(演歌道場:演歌の心を表現する素質が何段かという評価で、歌唱指導が一般的ですけど、真野氏の場合はアコーディオンの伴奏で演歌の気持ちをどれだけ表現できるか評価してもらうのだそうです)

次の方は「オー・ソレ・ミオ」と「帰れソレントへ」、続いての方は「エル・クンバンチェロ」と「黒いオルフェ」を弾かれラテン音楽がお好きなようです。この方は名刺をいただきましたけれど古宇田さんとおっしゃりこの会の最古参で、東京上野にあるお寺(林光院)のご住職です。

次に「小さな喫茶店」を演奏された方は88歳になりますと紹介されたご婦人でした。続いてはトリオで「スタイル ミュゼット」、特に順番が決められているわけではなく演奏者が次に弾く方を指名したり、弾きたい人が次々に演奏します。ラテンのリクエストも多く「シボネー」も演奏されました。2回目のせいか、アルコールのせいか浴衣で演奏する方もいらして皆さんリラックスムードで、のびのびと演奏を楽しんでいます。心から音楽が好きなんだなぁと思いました。

真野氏の弾かれた「世界は日の出を待っている」これもジャズの名曲で、昭和初期の大恐慌のときに流行った歌ですとのコメントです。三連符を蛇腹シェイクでの演奏でした。続けて弾いた真野氏の「帰ってきたツバメ」も音の立った切れ味の良いすてきな演奏でした。

次に演奏された方は、一昨年の関東アコ(独奏部門)のシニアの部に出場され入選第2位になられた満武直人さんです。最初の「ピア樽ポルカ」は仲間の楽器を借りて弾き、続いて自分の楽器に持ち替えて一昨年弾かれた「チロルのアコーディオン」を演奏されました。

次の方はトレモロハーモニカ(上下でトレモロになるように調律されている)で、「夏の思い出」を独奏、2曲目はアコーディオンの伴奏が入り「緑の地平線」を演奏。この曲は

聴いたことがなかったので帰宅後調べたら佐藤惣之助作詞、古賀正男作曲でした。次の方は「宇宙戦艦ヤマト」を演奏。5日後に控えた教室の発表会で演奏する曲ですとの紹介でした。

次は歌い手が入り「サン・トワ・マミー」他には「ラ・クカラチャ」、「真実のミュゼット」、「撫子の想い」(1915年ごろ作られたロシアの曲だそうです)。初めて聴く曲や、聴き覚えはあっても曲名が思い出せないもの等、演奏曲全て紹介できませんが、他には「ポルカ・フォックス(狐のポルカ)」(昔ラジオで流れていた思い出の曲だと話していました)。

「浜辺のうた」「月の砂漠」はみなさんで歌い伴奏は満武氏で、会場がしばしうたごえの雰囲気。

「二つのギター」と「クシコス郵便馬車」の2曲演奏された方はJAPC(ジェイパック)アコーディオン夏祭りでお見掛けしたことのある梅田公氏で、最後に「ピア樽ポルカ」も



演奏されました。

演奏終了後の集合写真(参加者全員)

※中段左から3人目は真野泰治氏、その右が筆者

翌日朝食の中でも、食堂で幾人か演奏していました。朝食後1時間ほど喫茶店でくろぎ午前10時現地解散となりました。

＝＝＝＝＝＝＝＝

朝食後、幹事のお一人大八木芳彦氏から会の様子を少しお話頂きました。

この会を立ち上げてから27年になります。■1988年(昭和63年)「レトロの会」として発足(当時を知っている方は今のメンバーの中にはいらっやらない様子でした)

■1991年(平成3年)「東京アコーディオン倶楽部」に改名。

■2000年(平成12年)「東京アコーディオン愛好会」に改名。

現在の愛好会に変わってからが一番長く続いている、メンバーも現在は16名程度ですが多いときで70名ぐらいいらした時もあったそうです。この会の特色というのか、同じ指導者の生徒たちが集っている会ではなくて、アコーディオンをこよなく愛する似た傾向の方々が残って続けていて、てんでんばらばら皆1匹オオカミの存在です。個人個人がばらばらというところがこの会の特徴かもしれませんとおっしゃっていました。ですから“広くお客さんと呼んで演奏を聴いてもらい、良かったら皆さんも一緒に楽しみませんか”といった仲間を増やす目的での発

表会ではないのでお客さんはおらず、取材の通り正に会の仲間だけで演奏を楽しむ交流の場ですとのことでした。

＝＝＝＝＝＝＝＝

夕食の際にメンバーの方々を拝見して60代、70代と比較的高齢でアコ歴も長そうなのでみなさんさらさらっと弾かれるのかと思いきや、実際の演奏はとて力強くしっかりした演奏でした。また、参加者の感想として、ある方は「人前で演奏する良い機会で、同じ趣味をもつ仲間とのひと時を温泉宿で過ごすのは何よりも至福のひと時です。」とおっしゃっていました。

普段聴くことのない方たちの貴重な演奏を聴かせていただきました。また、お仲間同様に接して下さったメンバーの皆様、ご協力ありがとうございました。(文責:乙津)



追記

真野奉治氏(トンボ楽器製作所会長)の演奏は初めてお聴きしました。帰宅後もう少し聴いてみたくなりYou Tubeで探してみたところ、「ハーモニカ伝道師(トンボ楽器会長)真野泰治さんの語りと実演」という項目が目にとまりました。どんなお話なのか気になり開いてみました。収録は昨年のようなので、81歳の年の講演です。以下はみなさんに紹介したいなと思った部分の転記です。

《(前略)私のような年齢になると生きる目標が必要になる。(中略)一番いいのは音楽。伴奏を入れて旋律を楽しむ。旋律だけじゃない、伴奏だけじゃない、一緒にやってみよう楽器を探してみるとハーモニカとアコーディオンしかない。

ハーモニカの演奏に招待されて行くとなぜ面白いかというと、(中略)上手なのを聴きたければCDを買って聴けばいいんです。それをわざわざCDより下手な演奏をお金を出して、千円とか2千円ぐらいですけれど、聴きに來るかという面白いからなんです。

何を聴きに行くのかというとその人の演奏がおもしろいからなんです。決してうまい

演奏ではなくて“人”なんです。その人が吹いているその人の面白さなんです。

だから素人の会へ行くと面白いのは、下手な人がいると応援したくなっちゃう。80歳ぐらいのおばあちゃん、ハーモニカをはじめて6か月ぐらい。やっと「故郷」が吹けるようになりました。それで吹いたんだけど穴1つずらしちゃった。(You Tubeでは実演)これでは音楽になりません。そのうちにおばあちゃんも気がついて音程が合ってきたらもう満場の拍手だった。(後略)》…以上の部分ですが、東京アコーディオン愛好会のメンバーの演奏をにこにこしながら聴いていた真野泰治氏のお姿の印象と重なりました。

..... ホワイトボード (連絡はがきその他より)

♪タニグチ・サンデートーク『アコーディオンを語る集い』♪ *谷口楽器のホームページより*

会場 谷口楽器4階アコーディオン売り場 ◆住所 千代田区神田駿河台1-8 タニグチビル4階
第165回 2016年6月19日(日) 13:00~14:30 講師: 加藤徹氏「コンサーティーナ(入門と試奏の会)」
第166回 2016年7月31日(日) 13:00~14:30 講師: 安西創氏「ミュゼット・アコ・デコボコ道中(15)」
第167回 2016年8月28日(日) 13:00~14:30 講師: 牧田ゆき氏「歌の伴奏について(6)」
問合せ 要予約 TEL03-3291-2711 Fax 03-3291-5188 ★各回定員20名(入場無料)

<http://www.taniguchi-gakki.jp/sunday.html>

.....
♪ニンフェール第12回コンサート「ReAccord」♪ *リコーダー+アコーディオン+エレクトロニクス*

日時 2016年6月19日(日) 開演:16:00(開場 15:30)
会場 愛知県芸術劇場 小ホール ★地下鉄東山線・名城線「栄」駅より徒歩5分
出演 大田智美(アコーディオン) 鈴木俊哉(リコーダー)
曲目 (曲順未定) 石井眞木作曲:《失われた響きII》(1984)アコーディオンとテープの為の
伊藤美由紀作曲:新作(2016)リコーダー、アコーディオンとエレクトロニクスの為の(世界初演)
田中範康作曲:新作(2016)リコーダー、アコーディオンとエレクトロニクスの為の(世界初演)
細川俊夫作曲:《鳥たちへの断章III b》(1990/97)リコーダーとアコーディオンの為の
エマヌエーレ・カサーレ作曲:《スタジオ 2a》(2000)バスリコーダーとテープの為の
ソフィア・グバイドゥーリナ作曲:《深き淵より》(1978)アコーディオンの為の
ソーラージュ作曲:《煙をくすべる者達》(14世紀)リコーダーとアコーディオン版
T.プレストン作曲:《ラミレに基づいて》(16世紀)リコーダーとアコーディオン版

入場料 全自由席(消費税込み)一般 3000円、学生(25歳以下)1000円

※10名以上の場合は、団体割引あり。詳しくは愛知県芸術劇場までお問い合わせください。

問合せ 愛知県芸術劇場 TEL 052-971-5609(10:00~18:00) ■協力:名古屋芸術大学音楽部

.....
♪Midori Music Fes 2016♪ *聴いて歌って楽しんでみんなで創る音楽まつり(緑公会堂リニューアルオープン記念)*

日時 2016年6月19日(日) 開演:14:15(開場 14:00) ■入場無料
会場 緑公会堂(横浜市) ★JR・市営地下鉄グリーンライン「中山」駅より徒歩5分
出演 《第1部》緑ベンチャーズ/パンポップママーズ/横浜アコーディオン愛好会(15:30 予定)/他4団体
《第2部》シエラベルデ/Yokohama38/横浜モダンジャズクラブ/Bravement's/他2団体
問合せ 緑区役所地域振興課生涯学習支援係 Tel 045-930-2236

.....
♪松原智美アコーディオン×荒井結子チェロ 400年の音の旅♪

日時 2016年6月25日(土) 1日2回公演 ■14:00(13:30開場) ■17:30(17:00開場)

会場 両国門天ホール ★JR「両国」駅西口より徒歩5分

出演 松原智美(アコーディオン:大阪出身。8歳よりアコーディオンに親しむ)

荒井結子(チェロ:福井市出身。6歳よりスズキ・メソッドでチェロを学ぶ)

カット:チラシより転写



プログラム ◇トッカータ(G.カサド編曲)/G.フレスコバルディ(1558~1643) ◇アリオソ/J.S.バッハ(1685~1750) ◇祈り op.158/C.サン=サーンス(1835~1921) ◇ため息(アコーディオンソロ)/当摩泰久 ◇Milonga sin palabras(無言のミロンガ) ◇Le Grand Tango 他

料金 一般前売 3000円(学生2000円)/当日一般 3500円(学生2500円) ※学生は大学生を含みます。

チケット e+(イープラス)<http://eplus.jp>(パソコン・携帯共通) ファミリーマート「Fami ぽーと」で直接購入
又は松原智美まで。PC アドレス info@matsubara-tomomi.com Tel. 090-8466-6418

..... ホワイトボード (連絡はがきその他より)

♪あじさいコンサート♪ *2016年度音楽センターアコーディオン科・北部センター演奏会*

日時 2016年6月26日(日) 開演:14:00(開場 13:30) ■入場無料

会場 蓮根センター レクホール(3階) ★都営三田線「蓮根」駅より徒歩5分

※駐車場はありません、公共交通機関をご利用ください。

プログラム トルコ行進曲 コンドルは飛んで行く ジャニー・ギター 他

《合奏》ポールシュカ ポーレ ドレミの歌 《アンサンブル》河は呼んでいる 夕やけこやけ

★講師演奏 ★みんなで歌いましょう 等

ゲスト 山田千賀子(ソプラノ歌手) ■指揮・音楽指導 木下尊規 鶴見篤子

問合せ 音楽センター教育部 ☎03-3208-8377



♪合唱団「道」47周年 定期演奏会♪ *横浜でロシア民謡を中心に歌い続ける*

日時 2016年7月3日(日) 開場:13:00 開演:13:30

会場 横浜みなとみらいホール 大ホール ★みなとみらい線「みなとみらい」駅より徒歩約3分

ゲスト 木星音楽団(ケーナ:八木倫明ほか)+中村初恵(ソプラノ) 指揮:中山英雄 小坂幸世 / ピアノ

小坂幸世 二宮悠太 / アコーディオン 中山英雄 大田智美 演奏:バラライカ・アンサンブル・ポーレ

演奏曲目(予定)【第1部 愛の歌】 燃える私の星よ 他【第2部 ゲスト:木星合唱団+中村初恵】 木星

(Jupiter) 赤いサラファン 他【第3部 ~大胡敏夫の世界~】 月は輝く バイカル湖のほとり 他

後援 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 神奈川新聞社 tvk(テレビ神奈川)

問合せ Tel. 090-9921-8241(加藤) Tel. 090-4208-4805(朝倉)

♪ともみ ともみ!アコーディオンコンサート♪

日時 2016年7月18日(月・祝) 開場:11:00 開演:11:30

会場 両国門天ホール ★JR「両国」駅西口より徒歩5分

プログラム 《デュオ》Aperture/坂田直樹 The Air Sculpture/浅井暁子 「Loose Leaf」より/田淵大次郎

「les Indes galantes インドの優雅な国々」より/J.Ph.ラモー 他

《ソロ》Clockwork Lullaby/篠田昌伸

だじゃれ音楽第4番「アコーディオン独奏のための〈お酢と納豆〉」/野村誠

出演 松原智美(アコーディオン) 大田智美(アコーディオン)

写真:チラシよりトリミングして転写



■楽器“解体”講座■ 同日開催 *アコーディオンの中、すべて見せます!*

時間 14:30~16:00 (開場:14:00) ■講師 加藤拓也(修理・調律師)

チケット コンサート 前売 3,500円(学生 2,500円) 当日 4,000円(学生 3,000円)

楽器解体講座 前売りのみ 2,500円(学生 1,500円)

コンサート&講座セット 前売りのみ 5,000円(学生 3,000円)

写真:チラシより転写

問合せ コンサート/コンサート&講座セットには、送料100円が必要になります。講座のみの場合は整理番号

をお知らせいたします。じゃばら研究会 Mail: jabara.labo@gmail.com TEL:090-8466-6418

http://matsubara-tomomi.com から申し込み可 ■コンサートのみ、未就学児の入場不可

支払い方法 銀行振り込み(振込手数料はご負担ください)※ご入金後のキャンセルによる返金不可。

主催 じゃばら研究会 後援 NPO 法人 日本アコーディオン協会(JAA)



..... ホワイトボード (連絡はがきその他より)

♪ JAPC アコーディオン夏祭り 2016 ♪ * 昨年同様合同発表会形式で開催。～みなさん参加しましょう!～*

日 時 2016年7月23日(土) 開場:12:00 開演:12:30

会 場 日暮里サニーホール・コンサートサロン ★JR、京成「日暮里」駅前(徒歩2分)

〈出場者募集要項〉

演奏形態 アコ独奏、アコ二重奏、アンサンブル(アコ+他楽器1名)のいずれか。

※1組最大2名まで ※ピアノあり

参加費 《独奏》¥3,000 《二重奏》¥4,000(2名分) 《アンサンブル》¥4,000(2名分)

演奏時間 5分以内

申し込み締切り 6月15日(水) JAPC(日本アコーディオン振興協議会)事務局必着



.....
《JAPC 打上げ夏祭り 2016》弾き放題、飲み放題、出演者以外の参加も大歓迎、こちらだけの参加も大歓迎!

7月23日(土) 17:00~ ※上記「アコーディオン夏祭り」終了後開催 ■会費 4,000円(飲食代込み)

会 場 レストラン「おっくす」 ※上記「アコーディオン夏祭り」会場となります。(ホテルラングウッド内)

問合せ JAPC 「(株)トノボ楽器製作所内」 TEL 03-3802-2105(竹田秀一) FAX 03-3802-2107

.....
♪ アコーディオン夏合宿セミナー2016 in 檜原村 ♪ * 8月5日(12:00受付)13:00(オリエンテーション) *

日 時 2016年8月5日(金)~7日(日) ■練習会場 数馬分校記念館 ■宿泊施設 民宿「数馬の里」

講習内容 【個人レッスン】ゆとり(1回20分)44,200円/一般(1回30分)51,200円/特別(1回40分)59,200円

【合奏・アンサンブルレッスン】①「悲しき天使」 ②「数馬温泉センターコンサート曲目から 【音楽理論講座】

【大田智美特別公開レッスン】(受講生は講師選抜で2~3人選抜)

イベント 《1日目》 花火大会・バーベキュー・飛び入り演奏・自由交流会など

《2日目》 檜原温泉センター:真夏の夜のコンサート(講師と受講生の演奏)

《3日目》 成果発表会(3日間の合宿での学習成果を個人発表します。)

講 師 大田智美(ゲスト講師) 川口裕志 倉田美穂 ■募集定員:20名 ■申込締切り:7月10日

問合せ <http://accordion-e-air.jp> 事務局長(後藤広一) 携帯 090-3816-6189



.....
♪ 埼玉アコーディオンサークル協議会 夏合宿 ♪ * 超みっちりコースあり *

日 時 2016年8月5日(金)~7日(日) ■講師 松永勇次 山岡秀明 大塚雄一 柴崎和圭 津花幸嗣(予定)

会 場 おおたき こまどり荘 埼玉県秩父市大滝中津川 447 <http://www.komadouisou.jp/>

参加費(予定) 全日程2泊3日 36,000円(子ども 42,000円) ■問合せ 0493-39-5736(峯島 浩)

.....
♪ 音楽センター 夏のアコーディオン講習会 2016 in 野辺山 ♪ * 音楽センター教室生以外の方もOK *

日 時 2016年8月19日(金)13:00開始~21日(日)13:00解散予定 ■会場&宿泊 民宿「りんどう」(長野)

内 容 ★個人レッスン ★アンサンブル ★伴奏実践講座 ★他 ※レッスン時間延長希望の方は要相談

講 師 松永勇次 川口裕志 柴崎和圭 鶴見篤子 稲葉由理子 森陽介(予定)

参加費 全日参加(受講料+2泊6食)税込み43,200円 2日間参加(受講料+1泊3食)税込み32,400円

■募集定員 45名 ■申込締切り:7月15日 問合せ TEL.03-3208-8377 FAX.03-3200-0104

.....
「次回実行委員会」のお知らせ 6月19日(日)18:00~ 会場 エデュカス東京

■伴奏講座募集について ■チラシの活用について ■ゲスト演奏者報告 ■広告募集について

■年間スケジュールについて ■その他